

学校運営協議会だより

令和8年7月
和みの学び舎 世田谷区立奥沢小学校
学校運営協議会委員長 親谷秀和
校長 前田 恵里

第3回 学校運営協議会の報告

- 1 日時 令和8年7月9日(木)18:00～
- 2 出席者 親谷委員長、伸澤、来栖、三原、塩田、土肥、魚地各氏、
前田校長、松田副校長、萩原学校支援コーディネーター
- 3 親谷委員長あいさつ(親谷委員長)
- 4 学校生活の様子から(前田校長)
 - ① 水泳指導について
・高温と多雨が心配されたが、ほぼ予定通り実施できた。
 - ② 熱中症対策について
・冷房効果が、教室ごとに異なる傾向はみられますが、現状問題なく過ごせた。
 - ③ 意見書提出について
・6月18日に教育委員会あてに、チーム担任制の制度充実と内容発展のために、今の体制制度が維持されることを期待し、その旨意見を提出した。
 - ④ 「非認知能力をのばす授業」について
 - 1) 今期2回目の授業が6月24日(水)に、わかば学級、つくし学級合同で体育の授業を実施した。
 - 2) 進幹教諭の指導により、からだづくりの運動遊びを児童全員がそれぞれやり方を工夫して、学習に取り組んだ。
 - 3) 教育指導課指導主事 高麗裕太先生よりのご指導をいただいた。
・特別支援学級の授業では、出されるすべての指示に大きな意味があり、見たり聞いたりしたことを行動につなげることや、自身の身体のかい方を学ばせるために、特別支援学級ならではの独自の観点と工夫が求められている。また友達と共に学ぶ時間の設定や自身、他者について振り返る時間を大切にすることで、非認知能力の育成を図っている。
- 4) 教育方法の流れとして
・教師が児童に「教える」⇒児童が「学び、それを教師がサポートする」という形に、教師自身が姿勢を改める必要がある。
・教師は授業のルールを敷きたくなくなる傾向があるが、無理やりルールを敷かないように心がける。
児童による強い自己調整力を大切に、児童自身で学びを深めていき、将来に結び付けられる能力を培っていく。
・高学年の児童については、「非認知能力をのばす授業」を受けること自体が、各自の学習能力を伸ばしていくことにつながると考える。

5 各実行チームより

① 学校関係者評価チーム(伸澤委員)

- ・アンケート用紙の業者への提出日が、9月25日までのため9月3日の第4回学校運営協議会でアンケート内容を決定する。

② 読み聞かせチーム(来栖委員)

- ・5月から順次開始している。
- ・2、3学期の実施については先生方のご意見をうかがい決定していく。

③ 学習支援チーム(染野委員) 欠席。

- ・7月10日(金) 3年生 社会授業の支援(奥沢の歴史)
- ・2学期1・2年生 「秋見つけ」林試の森公園での体験学習

④ 小1サポートチーム(三原委員)

- ・図工の支援を行っていく。
- ・改めて子どもたち一人一人に合わせた声掛けやサポートの難しさを感じている。

⑤ ほっとルームチーム(大田委員) 欠席。

- ・パーテーションなどの設置により環境を整える。

⑥ イベントチームより。

1) ペットボトルロケット【6月6日(土)実施済み】(担当:親谷・伸澤・遊び場開放委員会様)

遊び場開放委員会様にご協力いただき、児童50名の参加で実施した。

部品・部材が入手しにくくなっている点を注意して、今後も行っていく。

2) 作って食べよう【①7月11日(土)実施済み②12月12日(土)実施予定】(担当:土肥・来栖・染野)

指導者:福島様

福島様にご指導いただき、児童31名の参加でパンケーキ作りを実施した。

副校長先生・磯部先生にもご参加いただいた。

熱くなったフライパンを触ってしまう児童がいた。次回はより丁寧に事前説明して、ヤケド等けがを防止する。

3) アドベンチャーイン多摩川【8月30日(日)】(担当:親谷委員長・参加児童保護者有志)

7月5日(日)の大会説明会に参加した。

参加予定児童3名・いかだ1艇にて参加予定。

7月24日(金)に進水式を行う。

4) LET'S ダンス【10月31日(土)】(担当:大田・萩原)指導者:澤本様

ストレッチから始めて、ヒップホップダンスを楽しむ。

5) グランドゴルフ【11月25日(水)】(担当:塩田・三原)指導者:早川様

今年は大勢の教職員の参加が見込まれる。

指導者の早川様やクラブの皆様にご負担のかからないように留意し熱い戦いを展開していきたい。

6) 漢字検定【1月22日(土)】(担当:親谷委員長・PTA担当者様)

会場整備など準備をしっかりと行う。

6 その他の議題、質疑応答。

① 「非認知能力を伸ばす授業」の進展などについて(委員)

(校長先生より)

- ・友だちとの交流を通して、「会話の大切さ」を伝えるなど、広く学びの場を提供するように心がけている。
 - ・一人一人のゴールに向け、いろいろなルートを設定して、その児童にあった指導をする。
 - ・授業内容、単元によってはこれに向く授業と難しい授業が存在する。
 - ・今の授業手法としては、児童を長い目で見て本質をとらえ、児童独自の「学ぶ姿勢」を評価していく。
 - ・教師が一方向的に制約をせずに、児童全員で意見を出し合い、次の学習に向けて話し合うことを大切に
- する。

- ② 「チーム担任制」「教科担任制」について（委員）
- ・東京都の意向で今後多くの小学校で「教科担任制」が進める。
 - ・その中で今以上に教員間での情報共有が大切になる。
- ③ 「子どもたちのいいところアンケート」を地域の方をお願いすることはできないだろうか？（委員・魚地様）
- ・アンケート対象者を増やす場合、用紙配布方法や回収方法をどうすればよいか検討する。
 - ・誰が何の目的で、このアンケートを行い、その結果がどう利用されるのかをしっかりと説明できる資料を作り、準備をする。
 - ・アンケート結果の報告の方法と、その結果をどのように生かしていくのかを説明・明示する必要がある。初めてアンケート用紙が配られて方でも、安心して回答できるような、狭い地域内でも回答者個人が特定できないように設問内容などにも配慮をお願いする。
 - ・（校長）このアンケートが本校の保護者・児童の理解を深め、学校・地域関係者の皆様に役立つ内容なることを期待する。
- アンケートの結果を学校運営協議会として公表していければと考えている。

7 次回（第4回）予定

日時 令和8年9月3日（木） 18:00～

会場 奥沢小学校 2階 図書室